

さんSUNひろば VOL.20

北海道看護協会 第3支部

札幌4支部合同保健師職能研修会

2020年10月24日(土) アスティ45 ACU-A

「発達障害の豊かな世界と可能性～困難をこえる支援とは」



令和2年10月24日、アスティ45内のACU-Aにおいて、札幌学院大学の二通 諭名誉教授をお招きし、コロナ禍の中ではありましたが、マスク着用や検温、座席間隔を十分にとるなど、感染防止対策に取り組み、本研修会を開催しました。

第3支部からは22名、4支部併せて94名の参加がありました。

講師は、長年、学校教育の現場で発達障害児・者と関わり、実践や研究を重ねており、その経験から発達障害の特性や対応につい

て、事例を交えたお話しをして頂きました。

参加者からは、テーマ・内容とも好評で、「講師の中立的な立場でのお話が、当事者、家族、支援者と視点を替えて考える機会となった」「発達障害について、さらに深く学びたい」など第2弾の研修希望も多く聞かれました。

今後も、会員の資質向上や交流を図る取り組みを企画して参ります。

保健師職能委員長 高橋明子

【広報委員より】

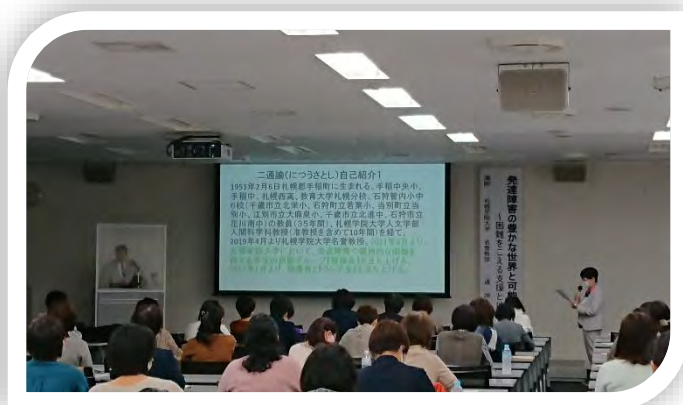
2020年10月24日に札幌4支部合同保健師職能研修会がACU-Aにて行われました。

札幌学院大学 二通諭名誉教授によりテーマは、「発達障害の豊かな世界と可能性—困難を

こえる支援とは」でした。二通先生は映画に描かれている障害ならびに障害のある人々に焦点をあてた著書も出版されている方であり、講義の中では映画に加えて近年のテレビドラマなどからも例を取り上げた内容もあり、発達障害にたいしてわかりやすく理解を深める事ができました。

そして二通先生が関わった具体的な事例を通して、発達障害を持つ方々の「ルールと相互性」を理解した上で

個々の「持てる力を高める」支援に活かしていく必要性と考え方を学ぶ事ができた研修会でした。講師の二通先生、そして感染対策に気を配り研修会の準備を行ってくれた委員の方々お疲れ様でした。



広報委員 稲垣 記

札幌第3支部 医療安全に関するネットワーク

Let's link up !

2020年11月27日(金) Zoom ミーティング



令和2年4月より札幌第3支部の医療安全に関するネットワーク「Let's link up !」が発足され、毎月第4金曜日に開催されています。今回、新型コロナウイルス感染症拡大により、初のZoomでのオンラインミーティングの開催となり、病院や施設から10名の方が参加されました。

議題は「各施設の事例・分析・対策・評価、各施設の事例とその際の看護記録について」で、事例「シュアプラグの取り扱いで、事故が繰り返された時の指導方法について」や「入

院患者が骨折した場合の治療費について」「医療事故の際の看護記録」などの事案について意見交換やアドバイス等がありました。医療事故は看護職を続けていく中でどうしても逃られない課題ではありますが、ミーティングで多くの事例から新たな情報を得ることで、各施設の

医療事故を減らしたり、事故後の速やかな対応などに繋がられるのではと実感しました。
医療安全にご興味のある方は是非ご参加ください。

広報委員 上嶋 記

【事務局より】

2020年4月1日、医療安全を中心とした情報交換や相談ができる、地域の看護職ネットワークを構築することを目的に「札幌第3支部 医療安全に関するネットワーク <Let's link up>」を発足いたしました。

しかし、この時期は新型コロナウイルス感染症の感染者が増加している時期であり、開催延期を余儀なくされました。6月に入り感染者数が落ち着いたのを機に、6月19日に初回開催となりました。その後は毎月第4金曜日18時から定例開催しています。現在の登録者は16名 登録施設は11施設です。各施設の事例について情報交換や医療安全に関するディスカッションを通して、互いに役立つ様々なヒントやアドバイスをもらうことができます。また、自施設の困りごとやちょっとした悩み、素朴な疑問などを気兼ねなく相談できる場にもなっています。

11月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、参集を避けZoomによるオンラインミーティングに急遽変更し、情報交換を行いました。今後も状況に合わせて開催していきたいと思っております。

安全管理者や看護管理者のほか、医療安全に関わっている（または興味がある）看護職の参加をお待ちしております。病院、クリニックだけでなく、訪問看護ステーションや様々な施設の方もお気軽にご参加ください。

つきましては、下記の内容をご確認のうえ、連絡先までご連絡ください。

恵佑会札幌病院 佐藤清美

E-mail:k.sato@keiyukaisapporo.or.jp

[TEL:011-863-2101](tel:011-863-2101)

FAX:011-863-2127



看護師職能委員会主催研修

2020年12月4日（土）Zoomにて開催



R2年12月5日（土）「新型コロナウイルス感染症における感染対策」をテーマに感染管理認定看護師としてご活躍の恵佑会札幌病院の伊藤由佳先生、札幌北楡病院の長倉竜也先生を講師としてお迎えし、オンラインでの講演会を開催致しました。

昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染対策について、基本的な考え方と実際の取り組みや具体的な感染対策を学び、今後続くWITH コロナの時代をただ恐れるの

ではなく基本を学んで必要な感染対策を継続していく手助けになったのではないかと感じております。講演後には、講師の先生が多くの質問に対し全て丁寧にお答え下さり、各施設で感染対策を通して今困っていることの改善に役立てていける講演会になったと実感致しました。初めてのオンライン研修会ということもあり、支部役員はじめ、講師の先生、参加して頂いた会員の皆様にもご協力頂き開催に至ることができました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

看護師職能委員長 飯田瑞季

【広報委員より】

12月5日（土）看護師職能委員会の講演会がオンラインで開催され、90名を超える会員が参加しました。まずZoom参加について感染対策のメリットは勿論の事、子育て中や遠方の会員にとっても気軽に参加可能でスキルアップできる機会となり、新たな研修方法として今後も普及に期待したいです。

テーマは【新型コロナウイルス感染症における感染対策】というタイムリーな内容で札幌北楡病院、恵佑会札幌病院2施設の感染管理認定看護師より新型コロナウイルス感染症対策の具体例を講義して頂きました。

札幌北楡病院の長倉先生の講義では、新型コロナウイルスの基礎知識から始まり、院内発生時

に備え病棟改修しベッド数を確保、物品の準備、スタッフ教育と万全の体制を整えている様子を動画も交えてご紹介頂きました。院内PCR検査は月200件を超えるが、結果判定までに1時間と迅速な対応が可能になっていました。長倉先生発案の、新医療者スタイル【職場ではマスク・フェイスシールド標準装備】をしっかりと実践し、濃厚接触者に該当しないよう注意していきたいと思いました。



恵佑会札幌病院の伊藤先生の講義では、実際の患者受け入れやスタッフ感染時の対応など具体策を示して頂きました。変化する情報を電子カルテ上にタイムリーに表示し、職員が共有できるような工夫。受け入れ病棟ではふき取り可能なカーテンの使用。足で開閉できるドアに改修。職員は休憩室の利用時間を明記する事で、濃厚接触者の速やかな選定に繋がっていました。個食スタイルの職員食堂の工夫など、他施設でもすぐに取り入れたい内容が多く参考になりました。

講義後の質疑応答もチャットから活発に行われ、会員の関心の高さを感じました。

お忙しい中講義頂いた講師の先生、研修の準備をしていただいた役員の皆様にお礼申し上げます。

広報委員 山中・高橋 記

編集後記

今年は、コロナに始まりコロナで終わるといふ1年となってしまいました。

いまだ猛威を振るい終息の見えない状態となっております。

みなさまも日々の感染対策、お疲れ様です。

これからワクチン接種等が始まり、1年後には、明るい未来が待っていることを願っております。

広報委員 K.K

